

I 県外観光客入込調査

1 概要

- (1) 令和5年に高知県を訪れた県外観光客入込数は、4,722千人と推計され、対前年比127.4%で1,015千人の大幅増となった。

連続テレビ小説「らんまん」の放送に合わせ開催した観光博覧会「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」や台湾との定期チャーター便の就航などにより、過去最多となる472万人となり、旅行需要の回復の兆しが見られた。

- (2) 交通機関別入込数においては、自動車による入込が全体の約9割を占めており、乗用車利用者は66.7%、観光バス利用者は19.9%であった。乗用車利用者は対前年比129.9%で710,959人の増加、観光バス利用者も対前年比113.0%で108,109人の増加となった。

また、他の交通機関においては、航空機が対前年比134.8%で37,318人の増加、チャーター機が対前年比3,754.9%で11,586人の大幅増となった。鉄道は117.1%で15,779人の増加となった。

- (3) 観光施設の利用状況において、利用者数が最も多かったのは「高知県立牧野植物園」で442,156人（対前年比236.7%）であり、連続テレビ小説による効果に伴い、大幅増となったと考えられる。

次いで、多かったのは「高知城懐徳館」の274,652人（対前年比134.1%）であり、高知城夜間イベントに併せた夜間開館が利用者の増加につながったと考えられる。

また、前年からの利用者数が増加した施設には、「旧浜口家住宅」（対前年比622.2%）や「佐川町立青山文庫」（対前年比279.2%）などがランクインしており、連続テレビ小説の主人公のモデル牧野富太郎博士の故郷が「佐川町」であったことから、増加につながったと考えられる。

- (4) 県外観光客一人当たりの消費額（客船除く）は、27,639円であり、前年と比較して1,563円の増加となった。

増加分の内訳は、「宿泊費」が717円、「飲食費」が164円、「交通費」が412円、「土産代」が251円、「その他」が19円の増加となり、全ての調査項目で増加となった。

県外観光客の総消費額は、129,075百万円であり、前年と比較して32,441百万円増加、対前年比133.6%となった。

2 展 望

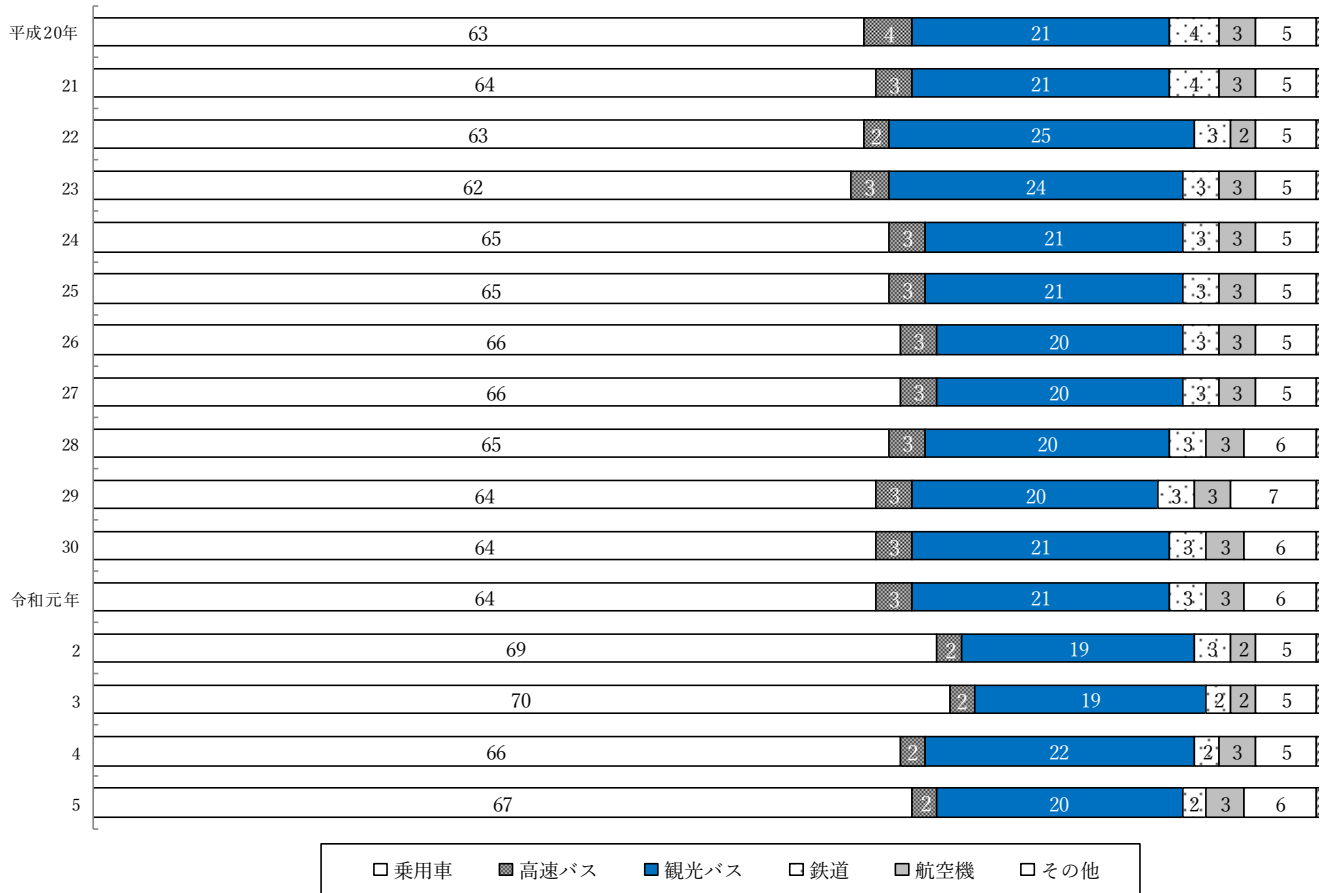
令和5年は、連続テレビ小説「らんまん」の放送に合わせ開催した観光博覧会「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」や台湾との定期チャーター便の就航などによる観光需要の回復に向けた取り組みを実施したことで、県外観光客入込数は過去最多となる472万人となった。

令和6年は、「どっぷり高知旅キャンペーン」における連続テレビ小説「あんぱん」を生かした観光振興の取り組みを実施し、県内周遊による長期滞在型の観光地づくりを推進していく。

3 調査結果

・交通機関別入込状況

(図1-1) 交通機関別観光客占有率の推移 (%)



(表1-2) 交通機関別観光客の推移

単位：千人

	乗用車	高速バス	観光バス	鉄道	航空機	フェリー	その他	合計
平成20年	1,914	111	642	135	91	15	145	3,053
21	2,012	103	674	122	81	14	150	3,156
22	2,737	108	1,080	120	93	13	208	4,359
23	2,412	111	947	120	96	12	186	3,884
24	2,481	112	827	121	102	11	186	3,840
25	2,670	115	839	123	109	11	205	4,072
26	2,642	114	816	122	111	10	197	4,012
27	2,714	118	805	126	112	10	201	4,086
28	2,756	115	856	129	116	10	261	4,243
29	2,830	114	892	130	122	9	309	4,406
30	2,820	112	927	133	125	7	288	4,412
令和元年	2,813	112	927	133	139	0	264	4,388
2	1,838	46	521	75	59	0	128	2,667
3	1,860	40	522	61	60	0	129	2,672
4	2,437	62	830	92	107	0	179	3,707
5	3,148	75	938	108	144	0	309	4,722

※平成23年から「その他」に航空機チャーター便と客船を加えている。

(参考) 県外観光客の推移と主な出来事

